

婦人層の学習熱高まる 各種講座・教室が大好評!

今年度は絵画、婦人講座を開講

中央公民館では、以前より生花教室や手芸教室、こども茶の湯教室、スポーツ教室等が行われておりましたが、今年度新たに各種講座・教室等が開講され、順調に運営されております。以下一部をご紹介します。

婦人講座

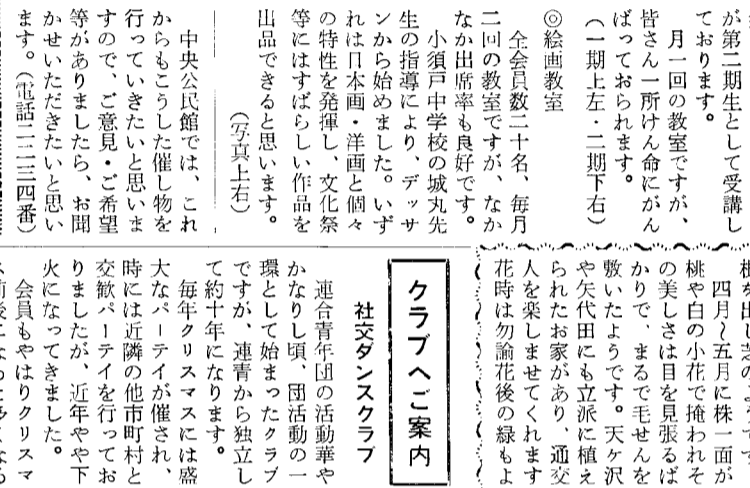
家庭の健康と幸せを担う主婦の方々に、大いに学習知識を深めてもらおうと開催されましたが、婦人会の協力により現在百五十名以上のマンモス講座となりました。

手芸教室

昨年開講され、三十名ほどの婦人が参加、リボンフラワー講習を受けました。その全員が第一期生として今年度も継続、この他に新規募集により四十数名の方が第二期生として受講しております。

絵画教室

全会員二十名、毎月二回の教室ですが、なかなか出席率も良好です。小須戸中学校の城丸先生の指導により、デッサンからは日本画・洋画と個性の特性を發揮し、文化祭等にはすばらしい作品を出品できると思います。(写真上下)



若者たちの巣

中央公民館長 間野良知

かつては社会教育団体の中心であった青年団組織の衰退ぶりには、本館にも淋しいものであります。しかし、若者たちからいって青年の一人一人が無気力になったとは言えない。最近、いろいろのグループ・サークルが生まれ

て公民館へ接触して来てくれる。私がかねてから「若者の寄りつかない公民館」は存在価値がない。公民館こそ青年たちのよき味方であり、若者たちの生活の中心にならなければならない。青年を中核として、同じ趣味や主張で結ばれたグループ・サークル・ボランティア・写真クラブ・サークル等が、公民館を根拠に活動している。

花だより

シバザクラ

別名をハナツメクサ、ハリフロッグス、モリスフロックスともいい、フロッグスドラモンドイア、八月末に咲くサキヤクウチトウト同じ仲間植物です。葉が細く短く尖って、茎は地面をはい節々から根を出し芝のようです。四月から五月に株一面が桃や白の小花で覆われその美しさは目を見張るばかりで、まるで毛せんを敷いたようです。天ヶ沢や矢代田にも立派に植えられたお家があり、通交人を楽しませてくれます。花時は勿論花後の緑もよく。(町園芸クラブ)



クラブへご案内

連合青年団の活動華やかなりし頃、団活動の一環として始まったクラブです。連青から独立して約十年になります。毎年クリスマスには盛大なパーティが催され、時には近隣の他市町村と交換パーティを行っておりました。近年やや下火になってきました。会員もやはりクリスマス前後になると多くなるようです。

五周年を迎え 二二一名入学 長寿大学

去る三月三十日第四回の修了式を行った長寿大学は、今年度を迎えて四月三十日盛大な入学式を挙行しました。前年の留年者一七四名に新生入生四七名を加えて総在籍二二一名という県下でも珍らしい多人数の学部となりました。

親子で登ろう 新緑の五頭山へ

主催＝山岳協会
オニギリを沢山もって親子で楽しい一日を過ごしましょう。
日時＝5月22日(日)午前8時公民館集合中央公民館へ(2234番)
参加費＝1人300円増
・親子2人500円増
・以後小学生以上)
(但し、小学生以上)
※マイクボックスで送迎。

神社と寺にご寄附二題 大鳥井や仏像のお前立

新保神社へ大鳥井と石燈籠・狛犬奉納
新保の鎮守様はかつて二社が合併し、新保神社と改称されたのであるが以来左記の方々から見事な建造物の奉納があった。
昭和四十九年 石燈籠一對 丸山清三郎氏
昭和四十九年 石狛犬一對 石本 清吉氏
昭和五十二年 石大鳥居 岩崎 松平氏
いづれも総御影石の大きなもので、まことに見事である。(写真右)
去る四月二十七日の春祭りに際し三氏に感謝状が贈られた。これにより、神域がひときわ社政を押し、住民の敬神の心も一段と高まることと思う。
◎茂林寺に国宝地蔵尊のお前立を寄進
本町の茂林寺奉安のお地蔵様(国宝)は、ご恒例の祝賀会はささやかな小宴でしたが、ぐくたくだけた和やかな雰囲気の本当に楽しい一時でありました。
◎青年学級
自治会山の会では本格的な活動を開始したが、矢代田の児玉サツ子さんから山歩きのハンドブック「山菜と薬草」という本をいただき、学習に役立てている。
◎無線クラブ
去る四月二十八・九日に全日本コンテスト参加初心者向けの無線講習会を一月より行ってきたが、今年十一月に長野市での国家試験に十名が挑戦する。

中学生文芸

富士山の 頂きにまだ 雪残る
山中湖 富士を過ぎて 写しける
富士山の 五合目来れば 息白し
くつきりと 五月の空に 富士の山
富士山の 頭に白い わた帽子
富士山に 桜の花が よくに
残雪の 富士を背にして 写真とり
五合目に 降りれば白い 息の見ゆ

賢子 亮子 真美 淳子 直美 公子



修学旅行感想文

小須戸中学校三年生が去る四月二十八・三〇日に東京方面へ修学旅行に行きました。その時の感想文二題をご紹介します。
三年二組 斎藤 彩子
日本一高い山として知られている富士山。あんなに有名な山に登れるというので、おわくわくしていました。ですが、いざ登ってみれば近すぎて富士山なんだという印象が薄く、遠ざかるにつれて登ったんだという実感



三年四組 中野 文明
「空中コースター、空中コースター、空中コースター」

四月旬会報 小須戸町俳句同好会

生き抜いて残雪ひくく、蝶横切る
卒業式特殊学級拍手高し
節の味ようやくに義勇館る
昨塗は女の仕事となりし村
下雨やあるくみちありふるさとは
春ささす飯豊の樹野インク色
干物の下は小さな三ツ葉芹
越後路のまだ春遠き野良仕事
雀らの世界眺まめきらず
梅の花小鳥来る日のつづきけり
時計屋の時計百態春の夜
補食せる燕が窓を越えてゆく
ジャガイモの芽のかみかみふて納屋の奥
桃の里あいさつまわり新教師
青菜摘む妻春の陽を背にあます
ほろ酔に木影が薄いおぼろ月
朝顔という笛へ声弾む
春は陽に風あり土くれし掌荒れはじむ

川原の畑 我妻清作

第二十四回交通人総合文化展 二席入選作品
雪消けの霞の流るる畑の中はほかに梅の花
咲き匂ふ